

建設業の誇りを撮る

広がる感動の輪

トンネル工事を得意とする
寿建設（福島市）の森崎英五
朗社長は、橋梁やトンネルな
ど地域に膨大に存在するイン
フラの老朽化の問題が、社会
に十分伝わっていないと危機
感を持っていた。現場でイン
フラの維持管理を担う建設業
の存在の重要性と併せ情報発

信する有効な手段はないかと
考えていた。
子供を対象とする橋梁メン
テナンスの勉強会の開催にも
取り組んだ。手応えはあった
が、広く伝えるという点では
限界を感じた。
そんなある日、森崎氏は知
人のブログで写真家の山崎工

リナ氏を知った。世界40カ国
以上を訪れ、街や自然、人の
姿を写していた。作品にドラ
マを感じた。「この人なら現場
をどう撮るだろうか」と心が
動いた。山崎氏を知人に紹介
してもらい撮影を依頼した。
森崎氏は「インフラメンテ
ナンスの現場に光を当てた
い」と山崎氏に伝えた。しか
し被写体について具体的な注
文はしなかった。

2017年秋、山崎氏が福
島で最初に撮影に臨んだのは
道路の路肩の草刈りだった。
その時の印象を山崎氏は写真
集『インフラメンテナンス』
にこう書いている。

大人の背丈を超えるほど
の草むらの中で草刈り機の静
かな機械音とともにまたたく
間に地面が表れる。そのそば
で、刈った草が道路へと飛ん
でいかないように飛散防止ネ
ットを抱えた人も動いてい
く。その連携プレーが心地よ
い。

山崎氏は、作業する人の姿
と表情にシャッターを切り続
けた。
その後、山崎氏は毎月のよ
うに福島を訪れ、トンネル補
修や橋梁補修、道路舗装、除
雪などの現場を撮った。
舗装工事について山崎氏は
こう記す。

くむせるような暑さの中、



路面が隆起したトンネルの地盤強化工事（撮影／山崎エリナ氏）



道路舗装工事現場での笑顔（撮影／山崎エリナ氏）

いた。6日間で約4
00人が訪れた。建
設業の姿を知り、感
動で涙を流す人の姿
を森崎氏は何度も目
にした。

写真展はその後、
福島県内の道の駅や
仙台市、新潟市内で
も開かれた。18年12
月、東京ビッグサイ
トであった「社会イ
ンフラテック201
8」の中での写真展
には石井啓一国土交
通相も訪れた。

山崎氏の撮影のフィールドは
高速道路メンテナンスの現場な
どにも広がっている。今回の写
真集の写真撮影では、寿建設の
ほか、福島市のネクスコ・メン
テナンス東北福島事業所と小野
工業所も撮影に協力した。

写真集の発刊に合わせ東京の
八重洲ブックセンターで写真展
を5月6日まで開いている。ま
た、東北を中心に全国約30の書
店で簡易写真パネル展示を行っ
ている。



老朽化に立ち向かう

トンネル、橋梁、道路の維持管理に奮闘する人々を撮った
山崎エリナ最新の写真集

写真集『インフラメン
テナンス～日本列
島365日、道路はこう
して守られている』
（グッドブックス、
2160円）